

<プレスリリースメモ>

各位

社会福祉法人聖隷福祉事業団 慶應義塾大学 SFC 研究所
高齢者のケアに関する地域連携プロジェクトを発進
～9月7日(火) 記念セミナーを開催～
(於：神奈川県藤沢市)

2010年7月29日

社会福祉法人聖隷福祉事業団
慶應義塾大学 SFC 研究所

社会福祉法人聖隷福祉事業団(本部：静岡県浜松市 理事長：山本敏博)と慶應義塾大学 SFC 研究所(本部：神奈川県藤沢市 所長：金子郁容)は、介護福祉事業と研究・教育活動との連携を図り、共同して「聖隷藤沢・元気で長生きプロジェクト」に取り組むことに合意し、活動を開始しました。

本プロジェクトは、2011年4月の藤沢市湘南ライフタウン内への「藤沢エデンの園」(有料老人ホーム)及び「藤沢愛光園」(特別養護老人ホーム)の開設をきっかけに、高齢者のための健康な施設づくりや、地域における高齢者のケアに関する連携体制づくりをめざすものです。

推進にあたって、聖隷福祉事業団と慶應義塾大学 SFC 研究所は、研究・教育の実践の場としての連携や、他の研究・行政機関等地域の各セクターとの懇談会開催、高齢者福祉施設入居者の社会参加による生きがいづくりにつながるさまざまな活動の中核となって、地域貢献に取り組んでまいります。

この連携プロジェクトの発足を記念して、本年9月7日(火)、慶應義塾大学 SFC 研究所所長金子郁容の基調講演によるセミナー「みんなでいきいき暮らすために～「おたがいさま」の地域づくり」を開催いたします。

●本リリースに関する問い合わせ先：

担当者：社会福祉法人聖隷福祉事業団 藤沢計画準備室 平川健二

連絡先：〒430-0946 静岡県浜松市中区元城町 218-26 聖隷ビル

電話 053-413-3294 FAX 053-413-3375

e-mail khirakawa@sis.seirei.or.jp

●プロジェクト発足記念セミナーの開催について

タイトル：みんなでいきいき暮らすために
～「おたがいさま」の地域づくり

開催日時：2010年（平成22年）9月7日（火） 13:00～15:30（12時開場）

場所：藤沢リラホール

（藤沢駅南口徒歩3分 藤沢市鶴沼石上1-1-15-5F TEL:0466-22-2721）

参加費：無料 定員：200名

プログラム：13:00 ご挨拶 聖隷福祉事業団 理事長 山本敏博

13:15 基調講演 慶應義塾大学 SFC 研究所所長、総合政策学部 教授 金子郁容

14:15 プレゼンテーション1：聖隷藤沢・元気で長生きプロジェクトについて
聖隷福祉事業団 常務 山内鉄也

14:45 プレゼンテーション2：慶應 SFC一健康・情報技術プロジェクトの紹介
慶應義塾大学看護医療学部長・教授、
ワークライフバランス研究センター長 太田喜久子

15:30 閉会

★セミナーに関するお問い合わせ、参加申し込みは下記まで

聖隷福祉事業団 TEL:0466-86-9100、FAX:0466-86-9110

●プロジェクト名称及び活動テーマについて

「聖隷藤沢・元気で長生きプロジェクト」は、人々が地域で健康に暮らすために、高齢者のケアに関する情報交流、教育・研究活動の地域社会とのつながり、入居者の社会活動・学びの場のための活動の推進母体で、本年度は次のような活動を計画しています。

1. 慶應義塾大学 SFC 研究所 e-ケアコンソーシアムにおける共同研究の推進(2010年4月～)
2. プロジェクト発足記念セミナーの開催(2010年9月)：本セミナー
3. 地域懇談会の開催(2010年11月頃)
4. 湘南ライフウンセンター地区におけるセミナーの開催(2011年2月頃)

●今後、本プロジェクトで取り組む分野とテーマ

分野	テクノロジー開発関連	調査・分析	制度やプログラムの開発
高齢福祉施設入居者のクオリティオブライフ (自立生活、いきがいづくり)	・ネットワーク、双方向通信	・モニター参加	・入居者向けプログラム (暮らし、教養、娯楽)
	・居住空間のユビキタスコンピューティング		・公開講座、聴講制度の検討
業務改善	・共用部のファシリティ	・経年データの分析	・マネジメントの効率化
	・情報連携とセキュリティ (見守り)		・ケアにあたる人のケア、スキルアップのための連携
地域とのつながり	・社会還元	・施設活用、連携	・地域における介護福祉のあり方研究
			・世代・住民交流、雇用促進

●聖隷福祉事業団について

聖隷福祉事業団は、結核が死にいたる病として恐れられていた昭和初期の1930年、静岡県浜松市において、ひとりの結核を患う青年をお世話することから始まりました。病室1つの診療所を病院へと充実し、治療の対象も結核から一般疾病へと広げ、2つの大きな総合病院になりました。

結核の予防対策として始まった検診の仕事は、生活習慣病予防・人間ドック・労働安全衛生・健康増進等の事業へと発展し、結核治療後の社会復帰施設として始まった社会福祉の仕事は、高齢者や障害者など様々な利用者のための事業へと拡大しました。

有料老人ホーム「浜名湖エデンの園」は、国内における先駆的施設として1973年（昭和48年）に、プライバシーの守られた住空間、共用施設、食事、健康管理等のサービスを提供し、自立した生活を支援する「高齢者の住

まい」として開設されました。

今年創立80周年を迎え、全国

に数多くの事業所を持つ聖隷

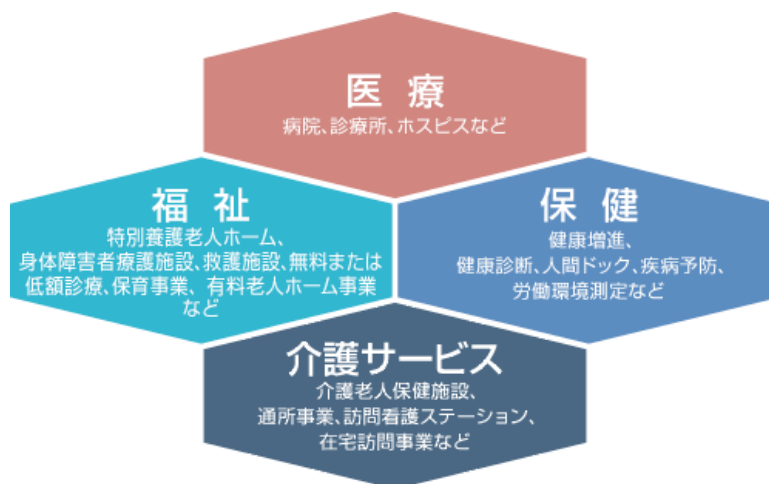
福祉事業団は、「医療・保健・

福祉・介護サービスを柱とする

総合的なヒューマンサービス

」を提供する複合体へと進

化しています。



◆藤沢エデンの園：藤沢市の西部に位置する湘南大庭地区は、1972年より「湘南ライフタウン」として整備されており、現在、湘南ライフタウンセンター地区において、大規模マンションや商業施設、高齢者福祉施設からなる「みんなの湘南プロジェクト」の開発が進んでいます。



当該地区において、聖隷福祉事業団は、2011年4月、有料老人ホーム「藤沢エデンの園一番館(210戸)、二番館(50戸)」を開設し、特別養護老人ホーム「藤沢愛光園(120床)」、デイサービスセンターやクリニック、訪問介護事業所等を同時にオープンします。

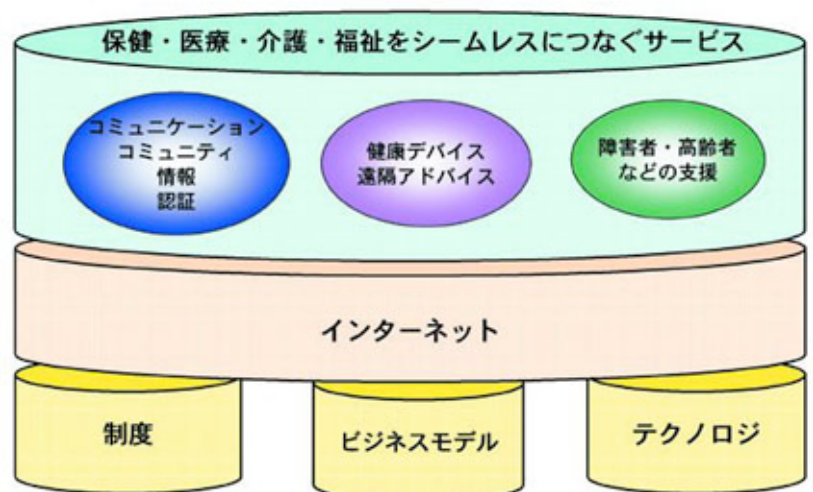
聖隷福祉事業団 藤沢市内高齢者施設完成予想図（施設概要を後述）

●慶應義塾大学 SFC 研究所との共同研究推進について

「聖隷藤沢・元気で長生きプロジェクト」において、慶應義塾大学 SFC 研究所では、e-ケアコンソーシアムが聖隷福祉事業団との共同研究の協力にあたります。

慶應義塾大学 SFC 研究所 e-ケアコンソーシアムは、藤沢市における e-ケアタウンプロジェクト（藤沢市、藤沢市保健医療財団、NTT 東日本、慶應義塾大学の 4 組織が一体となり、2002、2003 年度の 2 年間取り組んだ、総務省「e！プロジェクト」の実証実験）の成果を生かし、保健・医療・看護・介護・福祉分野および IT 分野の専門家が集い、「e-ケア」に関わる知識やノウハウを創造し発信することで、これからの社会に貢献することを目的として、2004 年 3 月に設立されました。様々な分野の専門家および自治体、企業、その他様々な組織が横断的に活動し、情報を交換し、発信し、社会制度・運用方法・ビジネスモデルなどを提案することにより、「e-ケア」のゆきわたるヘルスケアコミュニティ（＝「e-ケアタウン」）の創造・発展を目指しています。

e-ケア・モデル



参考：聖隷福祉事業団 施設概要

施設名称	藤沢エデンの園一番館 住宅型有料老人ホーム (210 戸 定員 420 名) 藤沢エデンの園二番館 介護付有料老人ホーム (50 戸 定員 54 名) 藤沢愛光園 特別養護老人ホーム (120 床 定員 120 名 全室個室) 藤沢愛光園 デイサービスセンター (定員 30 名) 在宅サービス事業所 (居宅介護支援、訪問介護 等) 診療所 (内科、テナント予定)
所在地	神奈川県藤沢市大庭字二番構 5526 番 2, 11, 14, 16
交通	J R 東海道線・湘南新宿ライン「辻堂」駅(北口)よりバス約 10 分、 「ライフタウン中央」バス停より徒歩 3 分 小田急江ノ島線・横浜市営地下鉄ブルーライン・相鉄いずみの線「湘南台」駅(西 口)よりバス約 15 分、「ライフタウン中央」バス停より徒歩 3 分
敷地面積	17,000.02 m ² (全体)
建築面積	6,308.22 m ² (全体)
建築延面積	28,132.41 m ² (全体)
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上 12 階地下 1 階
入居費用	藤沢エデンの園一番館 入居一時金 2,775 万円～4,605 万円 藤沢エデンの園二番館 入居一時金 1,625 万円～2,525 万円 (費用はいずれも一人入居、税込、別途管理費・食費等あり) 藤沢愛光園の費用は未定
完成予定	平成 23 年 2 月下旬
開設予定	平成 23 年 4 月 1 日
設計	株式会社公共設計
施工	株式会社間組
事業主体	社会福祉法人聖隷福祉事業団 (診療所は別医療法人による運営を予定)

以上